

勉強会用資料



Chapter 33

波動調整機器を使った遠隔治療デモンストレーション

まず、腰のところをチェックをさせていただきます。

ずれている場合、「痛い」という症状が出ます。

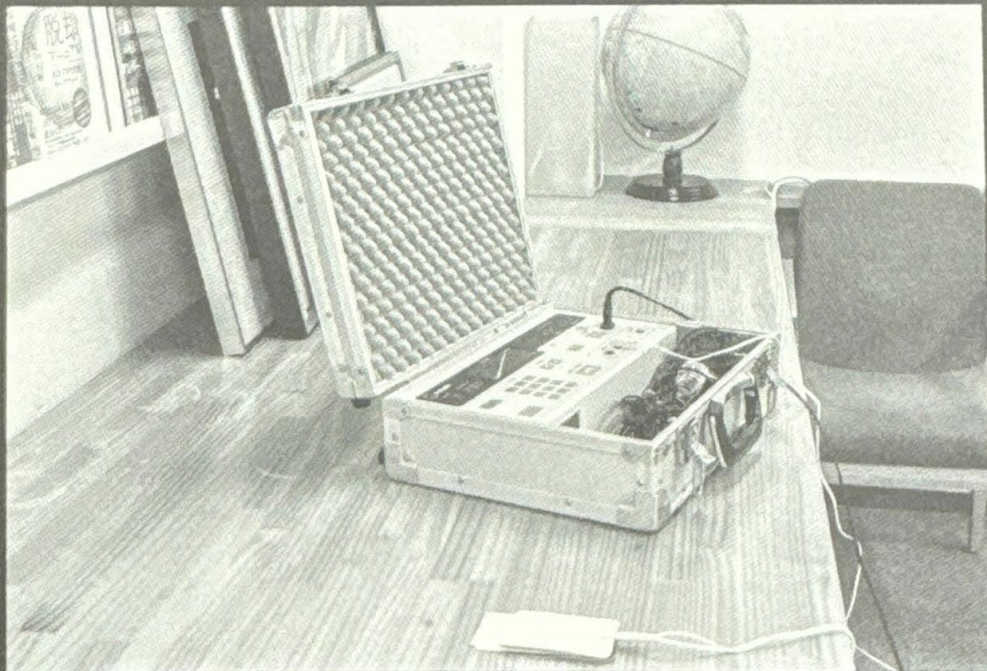
体を右と左に回したときに、普通は胸の正面が90度横に向きます。

それから、肘を上げたときに、頭のとっぺんまで上がります。

これが正常な状態とします。

このチェックを、手を挙げられた4名の方に行います。

そして、機械で量子テレポーテーションさせ、その方にさわらずに遠隔で、どれだけ体が柔らかくなるか、変化を体験していただきたいと思います。



量子テレポーテーションのデモンストレーションとして、波動調整機器での遠隔治療を行った。手前のパッドには、体験者の名前を書いた紙をはさんである。

〔4人の体をチェック〕

——次に、紙にお名前を書いてください。

こちらの機械は、肌に電気をかけるときはゲルを塗るのですが、紙だとくっついてしまうので、ゲルを外したパッドを用意しました。

そこに名前を書いた紙をはさみます。

肌に直接さわってないので、この機械ではマックスの強さで電気をかけていきます。

先ほどもお話があったように、波動は一瞬で4名の方に向かって飛んでいきます。

地球の裏側にいても一緒です。

まだそんなに時間は経ってないですが、体の状態をもう一度チェックさせていただきます。

〔4名全員、体の痛みが取れて、柔らかくなって、可動域が広がった〕

船瀬 筋肉が柔らかくなるんですね。筋電流ですか？

飛沢 いや、これは量子テレポーテーションです。

機器から筋肉が緩む波動を流しています。それで痛みが取れる。

——瞬時に体が修正されましたね。これだけ効果が高いことがわかっていただけたと思います。自分でやっていてびっくりしました。

飛沢 今日結構すごだね。

船瀬 会場に、いい波動が流れているんだ。

——ありがとうございます。(拍手)

飛沢 今のが量子テレポーテーションです。

今、紙に名前を書いただけでしょう。それだけで、その人の量子情報が一瞬で飛んで、機器が認識してしまうわけです。名刺でもいいです。

船瀬 すごいね。

飛沢 技術的なことは、あまり細かいことを言うと、まずいというか、医者要らずの機械なので。でも、最近は使っているお医者さんも結構います。

船瀬 これはメドベッドのはしりだな。

飛沢 これは生体電流を微妙にコントロールする機械で、実は私も持っています。毎日当てていますが、体全体のバランスをすごく整えてくれます。

船瀬 究極の波動医療だよな。

飛沢 この機械は、悪いところの波長のコードを変えられます。

ガンの人には、ガンを消すコードがあるので、そのコードを入れて遠隔で送る。これ以外に、携帯用の小さいものもあります。

携帯用のほうは、ものすごく波動の高い宇宙エネルギーなんです。

さっき僕が説明した（114ページ）高波動部分だけバーツと来るので、どこがよくなるかというのは人によって変わるんですけれども、全体的によくなる。

僕はこの小さいほうで、犬から人間まで、遠隔治療を随分やっています。犬は、これでガンがよく治るんです。なぜかわかりますか？ 犬は、ガンだとわからないからです。

船瀬 犬は素直だよな。人間だけが悩むんだ。

飛沢 犬は、病気という感覚がないんです。人間は、ガンだと言われると、大体はガンとなってしまう（笑）。

